



KY-PZ510N ファームウェアアップデート (v3.0.12) について

追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。「取扱説明書」とあわせてお読みください。

●は初期値です。

ご注意： _____

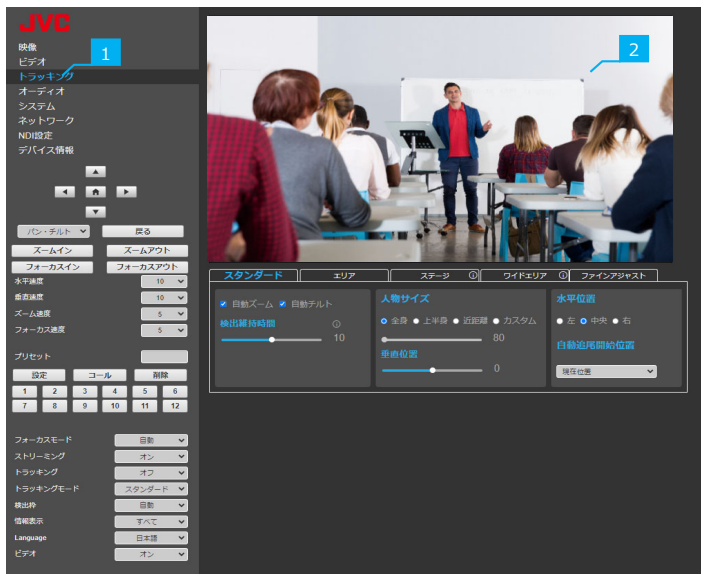
本ファームウェアアップデートを利用しアップデートを行った際、ソフトウェアを以前のバージョンに戻すことはできませんので、ご注意ください。

- ・ ビューリモコン画面に、“トラッキング”メニューを追加しました。

トラッキングメニュー

人物の自動追尾機能について、各設定の変更が可能です。

ビューリモコン画面左側の[トラッキング](1)をクリックすると、自動追尾の設定画面(2)が右側に表示されます。



トラッキングメニュー

- ・ ビューリモコン画面に、“トラッキングモード”のドロップダウンメニューを追加しました。

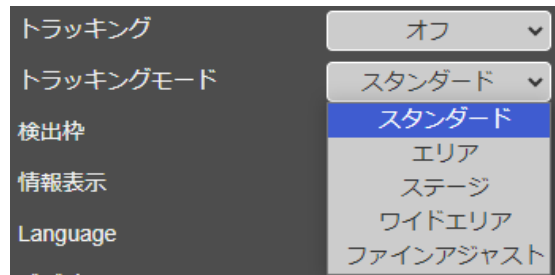
トラッキングモード

使用するトラッキングモードを設定します。

[設定値：●スタンダード、エリア、ステージ、ワイドエリア、ファインアジャスト]

メモ： _____

[トラッキングモード]を変更するときは、[トラッキング]を“オフ”にしてください。



トラッキングモード

- ・ 自動追尾機能を拡張しました。

従来の自動追尾機能に加え、新たに4つのモードを追加しました。

スタンダード	通常の追尾機能です。画面上で人物を表示する大きさ、および人物の水平位置や垂直位置を指定できます。
エリア	水平に4分割したエリアを設定し、人物が隣のエリアに移動した場合のみ追尾してエリアを切り換えます。
ステージ	撮影範囲の左端と右端の間をステージエリアとして設定し、対象がステージエリアにいる場合のみ追尾します。
ワイドエリア	特定の2つのエリアを設定し、エリア内では人物の動きにあわせてエリアの切り換えのみを行い、人物がエリア外に出た場合はスタンダードモードとして追尾します。
ファインアジャスト	通常のプリセット移動後に、人物が画角内でずれていても画角を微調整するように数秒間だけ追尾します。

メモ： _____

周囲や人物の状況、条件などにより、指定した人物を追尾できない場合があります。

スタンダードモード

カメラは各設定に従って、指定した人物を追尾します。

画面上で表示する人物の大きさや、人物の水平位置や垂直位置を設定できます。



【スタンダードモードの設定】

共通設定

同じ名称の設定は各トラッキングモードと共通であり、すべてのトラッキングモードに反映されます。

例) スタンダードタブで設定した[人物サイズ]の設定は、ファインアジャストのトラッキングでも有効です。



スタンダードモードの設定画面

自動ズーム

チェックを入れると、ズームを使った追尾をします。

自動チルト

チェックを入れると、チルトを使った追尾をします。

検出維持時間

追尾対象が検出できなくなったときに、PTZ位置が[自動追尾開始位置]に戻る時間を設定します。

[自動追尾開始位置]に戻っても[トラッキング]は“オン”のままです。

[設定値 : 5, 8, ●10, 12, 15]

メモ : _____

設定値は、秒数ではありません。

人物サイズ

追尾対象の人物を表示する大きさを設定します。

[設定値：●全身、上半身、近距離、カスタム（●80～141～290）]

全身	人物の全身を表示するようにズームを調整します。
上半身	上半身、または腰より上までを表示します。
近距離	被写体の近く、または胸より上を表示します。
カスタム	選択すると、スライダーで表示サイズの調整が可能です。



[人物サイズ] = "全身"



[人物サイズ] = "上半身"



[人物サイズ] = "近距離"

メモ： _____

[自動ズーム]にチェックを入れてください。

垂直位置

画面の最上部から、追尾対象の最上部までの間隔を設定します。

[設定値：-5, -4, -3, -2, -1, ●0, 1, 2, 3, 4, 5]



[垂直位置] = "-5"



[垂直位置] = "0"



[垂直位置] = "5"

メモ： _____

[自動チルト]にチェックを入れてください。

水平位置

追尾対象を配置する場所を設定します。

[設定値：左、●中央、右]



[水平位置] = "左"



[水平位置] = "中央"



[水平位置] = "右"

自動追尾開始位置

追尾開始位置を設定します。追尾対象が検出できなくなった場合は設定した位置に戻ります。

[設定値：●現在位置、HOME位置、プリセット1] (スタンダードモード)

[設定値：●現在位置、HOME位置、プリセット1、W1、W2] (ワイドエリアモード)

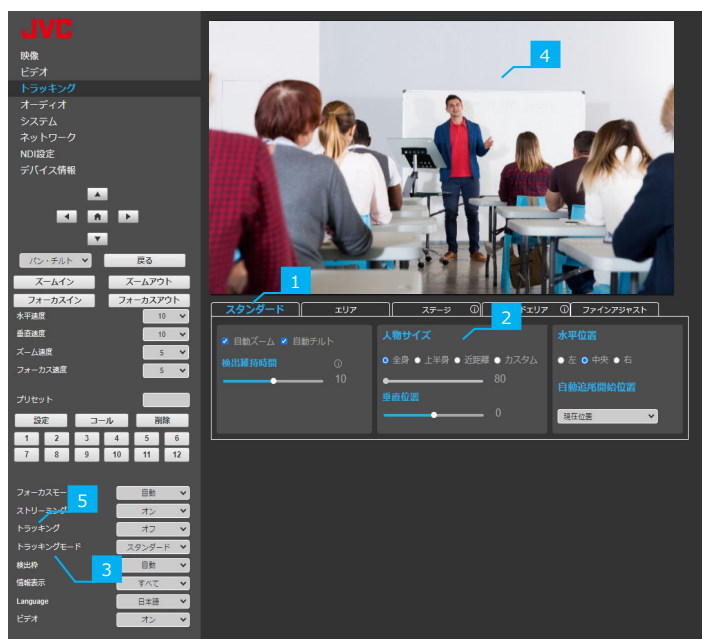
【スタンダードモードで自動追尾を開始する】

1. ビューリモコンの[トラッキング]ページにある[スタンダード]タブをクリックする。
2. [スタンダード]タブ内の各項目を設定する。
3. [トラッキングモード]を“スタンダード”にする。
4. 追尾する人物を画角内に入れる。
5. [トラッキング]を“オン”にして、自動追尾を開始する。
カメラのPTZ位置を[自動追尾開始位置]に移動後、自動追尾を開始します。

【自動追尾を終了する】

[トラッキング]を“オフ”にします。

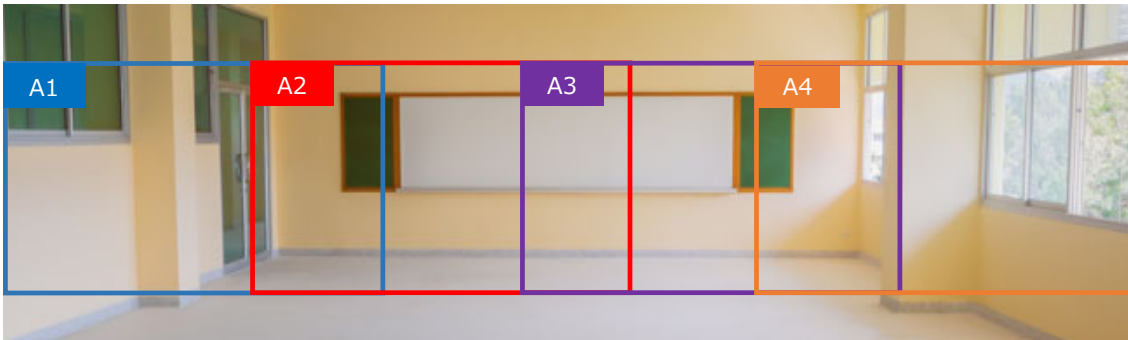
自動追尾が終了し、カメラのPTZ位置は[自動追尾開始位置]に戻ります。



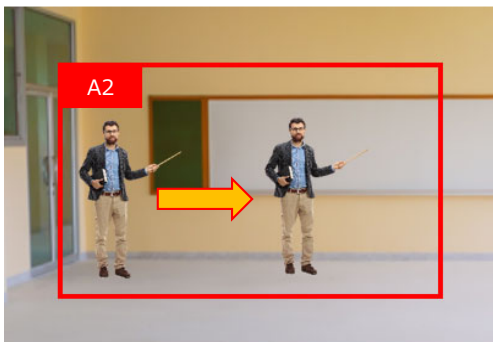
スタンダードモードで自動追尾を開始する

エリアモード

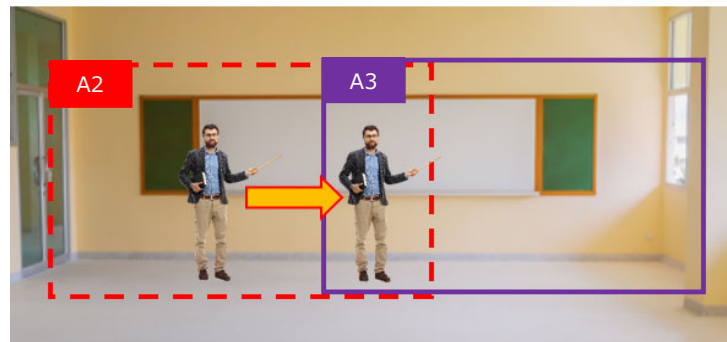
撮影範囲として水平に最大4つに分けたエリアを設定し、人物が隣のエリアに移動した場合のみ追尾し、設定したエリアの画角に切り換えます。追尾対象の人物が同一エリア内にいる間は、人物が動いてもPTZ動作を行いません。人物がエリア外に移動して、検出維持時間で設定した時間を経過すると、PTZ位置は開始エリアに戻ります。



エリアは最大で4ヶ所を設定できます。



ターゲットが各エリア内で移動しているときは、PTZ動作をしません。



ターゲットが隣のエリアを移動したときのみ、カメラが追尾しエリアを切り換えます。

【エリアモードの設定】

A1, A2, A3, A4エリア

A1, A2, A3, A4の各エリアの画角を[設定]ボタンで登録します。ボタンを押したときの映像とPTZ位置がプリセットとして保存されます。プリセット187(A1), 188(A2), 189(A3), 190(A4)が使用されます。[削除]ボタンで登録済みのプリセットを削除できます。

開始エリア

追跡開始エリアを設定します。追尾対象を検出できない時間が検出維持時間を超えた場合は、設定したエリアに戻ります。

[設定値: ● A1, A2, A3, A4]



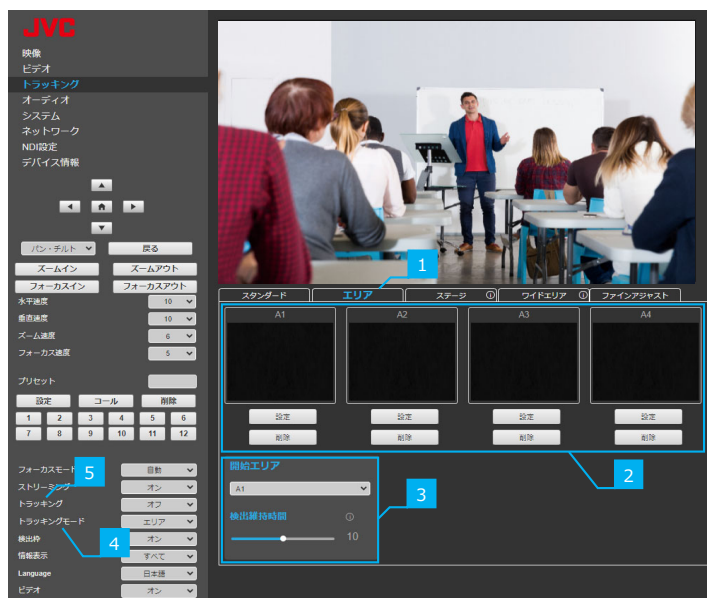
エリアモードの設定画面

共通設定

[検出維持時間]を設定可能です。

【エリアモードで自動追尾を開始する】

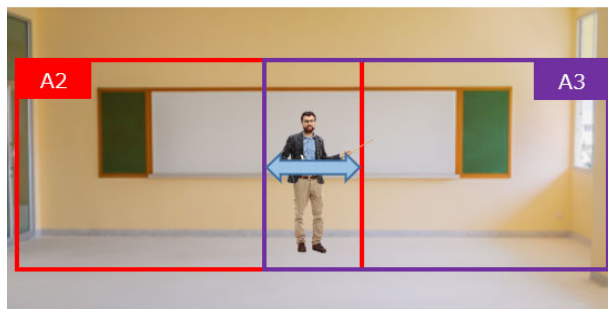
1. ビューリモコンの[トラッキング]ページにある[エリア]タブをクリックする。
2. A1～A4のPTZ位置を設定する。
 - ・PTZ位置を決めて、A1～A4の[設定]ボタンを押してください。現在のPTZ位置がA1～A4に登録されます。
 - ・カメラから見て、左側からA1、A2、A3、A4の順にエリアを設定してください。
 - ・各エリアは下図のように、隣のエリアとおよそ人物ひとり分のスペースが重なるように設定します。
 - ・2つ以上のエリアを設定してください。
 - ・未登録のエリアを[開始エリア]に設定しないでください。
3. [開始エリア]、[検出維持時間]を設定する。
4. [トラッキングモード]を“エリア”にする。
5. [トラッキング]を“オン”にして、自動追尾を開始する。
 - ・カメラのPTZ位置を[開始エリア]に移動後、自動追尾を開始します。
 - ・検出維持時間を超えても追尾対象を検出できない場合は、[開始エリア]に戻ります。



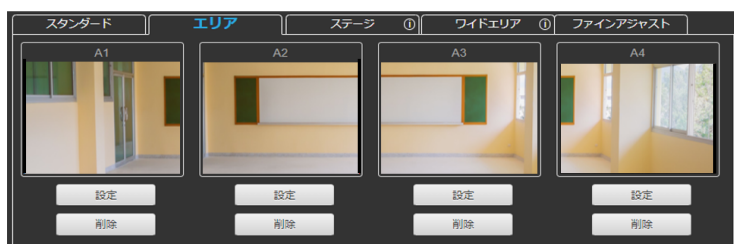
エリアモードで自動追尾を開始する

【自動追尾を終了する】

- [トラッキング]を“オフ”にします。
自動追尾が終了し、[開始エリア]に指定したPTZ位置に戻ります。



人物ひとり分の幅を重ねてエリアを設定します



エリアモードのエリア設定例

ステージモード

撮影範囲の左端と右端の間をステージエリアとして設定し、人物がステージエリアにいる場合のみ追尾します。



【ステージモードの設定】

左端、右端、自動追尾開始位置

ターゲットを追跡する範囲（左端、右端）と、自動追尾開始位置の画角を[設定]ボタンで登録します。

ボタンを押したときの映像とPTZ位置がプリセットとして保存されます。プリセット192(左端)、193(右端)、191(自動追尾開始位置)が使用されます。

[削除]ボタンで登録済みのプリセットを削除できます。



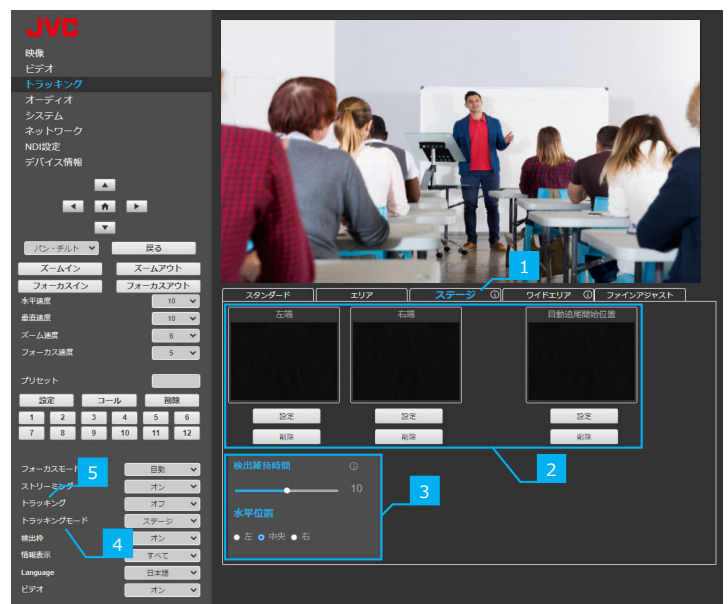
ステージモードの設定画面

共通設定

[検出維持時間]、[水平位置]を設定可能です。

【ステージモードで自動追尾を開始する】

1. ビューリモコンの[トラッキング]ページにある[ステージ]タブをクリックする。
2. [左端]、[右端]、[自動追尾開始位置]をそれぞれ設定する。
 - ・PTZ位置を決めて、左端、右端、自動追尾開始位置の[設定]ボタンをそれぞれ押してください。現在のPTZ位置が登録されます。
 - ・[左端]、[右端]は逆の位置に設定しないでください。
 - ・[左端]、[右端]、[自動追尾開始位置]の設定位置により、追尾ができない場合があります。
 - ・[左端]、[右端]、[自動追尾開始位置]の設定前は、[トラッキング]を“オン”にしないでください。
3. [検出維持時間]、[水平位置]を設定する。
4. [トラッキングモード]を“ステージ”にする。
5. [トラッキング]を“オン”にして、自動追尾を開始する。
カメラのPTZ位置を[自動追尾開始位置]に移動後、自動追尾を開始します。



ステージモードで自動追尾を開始する

【自動追尾を終了する】

[トラッキング]を“オフ”にします。

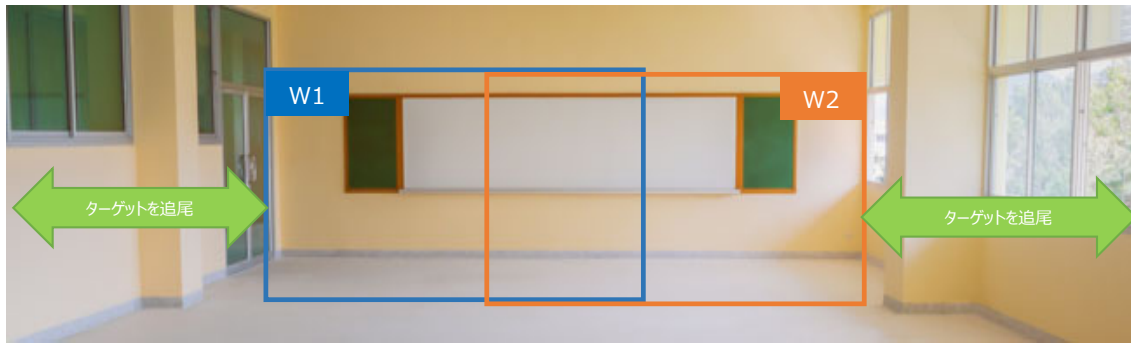
自動追尾が終了し、カメラのPTZ位置は[自動追尾開始位置]に戻ります。



ステージモードの設定例

ワイドエリアモード

撮影範囲内に特定の2つのエリアを設定し、人物がエリア間を移動した場合とエリアの外に出た場合のみ追尾します。
追尾対象がW1エリア、またはW2エリアにいる場合は、エリアモードと同じ動作をします。
W1, W2エリア以外にいる場合は、スタンダードモードと同じ動作で追尾します。



指定エリア内ではカメラは追従しません

【ワイドエリアモードの設定】

W1, W2エリア

各エリアの画角を[設定]ボタンで登録します。
ボタンを押したときの映像とPTZ位置がプリセットとして保存されます。
プリセット194(W1), 195(W2)が使用されます。
[削除]ボタンで登録済みのプリセットを削除できます。

共通設定

[自動ズーム]、[自動チルト]、[検出維持時間]、[人物サイズ]、
[垂直位置]、[水平位置]、[自動追尾開始位置]を設定可能です。



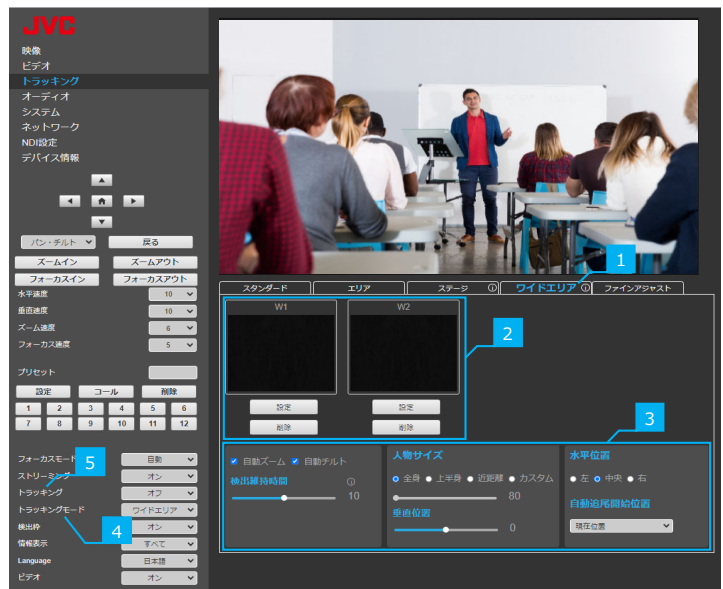
ワイドエリアモードの設定画面

【ワイドエリアモードで自動追尾を開始する】

1. ビューリモコンの[トラッキング]ページにある[ワイドエリア]タブをクリックする。
2. [W1]、[W2]をそれぞれ設定する。
 - ・PTZ位置を決めて、W1、W2の[設定]ボタンをそれぞれ押してください。現在のPTZ位置が登録されます。
 - ・カメラから見て左側をW1、右側をW2エリアとして設定してください。
3. [ワイドエリア]タブ内の各項目を設定する。
4. [トラッキングモード]を“ワイドエリア”にする。
5. [トラッキング]を“オン”にして、自動追尾を開始する。
カメラのPTZ位置を[自動追尾開始位置]に移動後、自動追尾を開始します。

【自動追尾を終了する】

[トラッキング]を“オフ”にします。
自動追尾が終了し、カメラのPTZ位置は[自動追尾開始位置]に戻ります。



ワイドエリアモードで自動追尾を開始する



W1とW2の設定例

ファインアジャストモード

通常のプリセット移動後に人物が画角内でずれていた場合、画角を微調整するように数秒間だけ追尾して、人物を画角の中央にくるようにPTZ動作をします。

自動追尾持続時間を経過すると人物の追尾は終了し、通常操作が可能です。

次のプリセットを呼び出すと、再びファインアジャストが動作します。



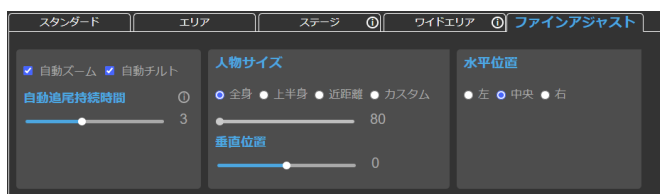
【ファインアジャストモードの設定】

自動追尾持続時間

プリセット移動後の人物を追尾する時間を設定します。
設定した時間が経過すると、通常のPTZ操作が可能です。
[設定値：1, 2, ●3, 4, 5, 6]

メモ： _____

PTZ位置補正後の人物の大きさが小さいときは、
[検出持続時間]を長くすることで改善する場合があります。
設定値は、秒数ではありません。



ファインアジャストモードの設定画面

共通設定

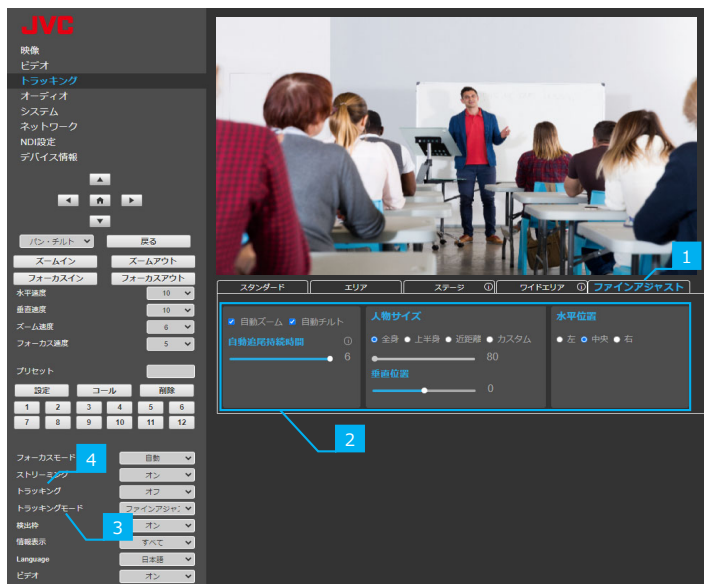
[自動ズーム]、[自動チルト]、[人物サイズ]、[垂直位置]、
[水平位置]を設定可能です。

【ファインアジャストモードで自動追尾を開始する】

1. ビューリモコンの[トラッキング]ページにある[ファインアジャスト]タブをクリックする。
2. [ファインアジャスト]タブ内の各項目を設定する。
ファインアジャストモードの各設定については、2～4ページの共通設定を参照してください。
3. [トラッキングモード]を“ファインアジャスト”にする。
4. [トラッキング]を“オン”にして、ファインアジャストモードを開始する。
各プリセットを呼び出すたびに、人物を画角中央に配置するようにPTZ位置を自動で調整します。

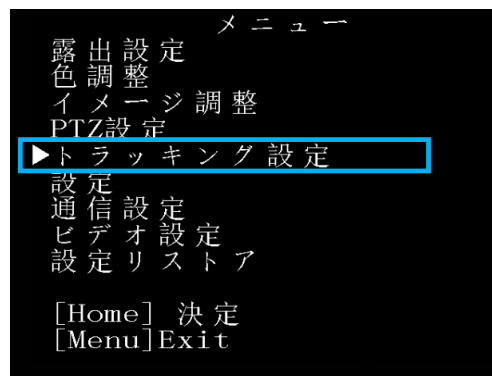
【自動追尾を終了する】

[トラッキング]を“オフ”にします。
自動追尾が終了します。



ファインアジャストモードで自動追尾を開始する

- ・ 本体メニューに、[トラッキング設定]を追加しました。
[トラッキング設定]項目に、[トラッキング]と[トラッキングモード]を追加しました。
本体メニューからも自動追尾の選択・操作が可能です。



本体メニュー

トラッキング

“入”にすると自動追尾を開始します。
[設定値：●切、入]

トラッキングモード

[トラッキング]項目が“入”で動作するトラッキングモードを設定します。
[設定値：●スタンダード、エリア、ステージ、ワイドエリア、ファインアジャスト]

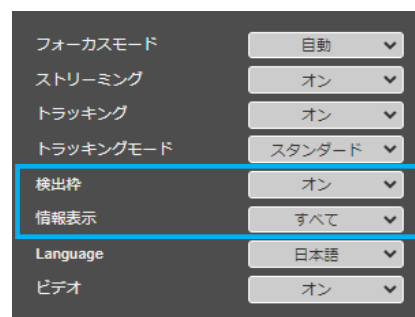
メモ： _____
[トラッキングモード]を変更するときは、[トラッキング]を“切”にしてください。

- ・ ビューリモコン画面に、[検出枠]、および[情報表示]のドロップダウンメニューを追加しました。

検出枠

自動追尾中に現在追尾しているターゲットを緑の枠で囲みます。
[設定値：オン、オフ、●自動]

オン	ターゲット検出中は常に検出枠を表示します。
オフ	ターゲット検出時も検出枠を表示しません。
自動	ターゲット検出時、および選択中のみ表示します。



ビューリモコンのドロップダウンメニュー

メモ： _____
[検出枠]を“オン”または“自動”にすると、[情報表示]の設定に関わらず、HDMI/SDI、ビューリモコン、およびライブストリーミングのすべての画面に表示します。

情報表示

本体メニューなどの画面表示の出力先を選択できます。
[設定値：●すべて、HDMI/SDI、Web/ストリーミング、オフ]

すべて	HDMI/SDI、ビューリモコン、およびライブストリーミングのすべての画面に表示します。
HDMI/SDI	HDMIまたはSDI出力のみに表示します。
Web/ストリーミング	ビューリモコンとライブストリーミングのみに表示します。
オフ	どの映像にも表示しません。

・ **自動追尾動作中のターゲット選択方法を追加しました。**

複数の人物を映している場合のターゲット（追尾対象）の選択方法が増え、下記の操作でも選択が可能になりました。

1. ビューリモコン（Webブラウザ画面）の左右ボタン
2. ビューリモコンのトラッキングページでの映像に表示されている人物をダブルクリック
3. リモートカメラコントローラ RM-LP100（V0323以降）のコントロールレバーの左右操作
4. Standard Protocolで動作するIPリモコンのレバーの左右操作



ビューリモコン画面



RM-LP100

- ・ **本体メニューの①[設定]に、②[カラーマトリクス]を追加しました。**
- ・ **ビューリモコンの①映像メニューに、②[カラーマトリクス]を追加しました。**

カラーマトリクス

カラーマトリクスをスタンダードとナチュラルの2種類から選択できます。

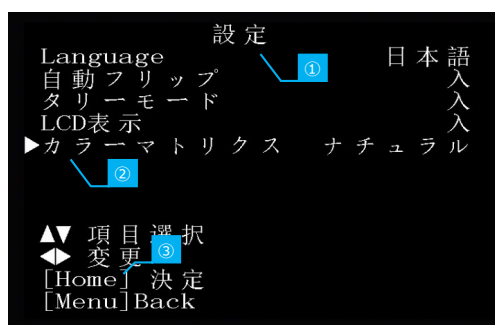
[設定値：●スタンダード、ナチュラル]

スタンダード	標準のカラーマトリクスにします。
ナチュラル	スタンダードよりも明るく自然な色合いで、舞台照明などの強い単色光源下での撮影に効果的です。

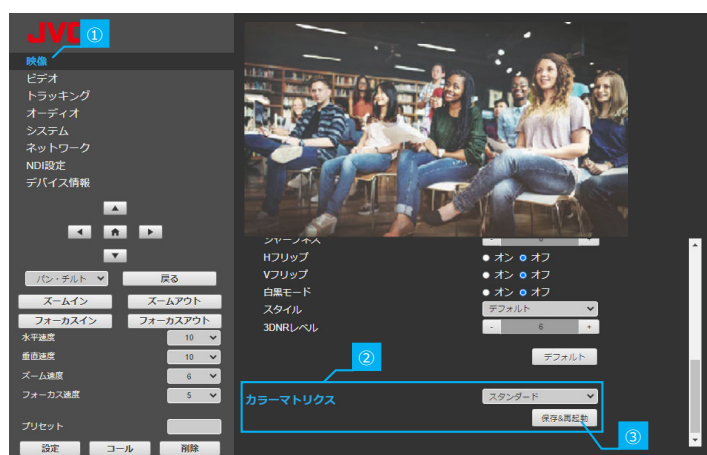
メモ： _____

本体メニューでは、③[Home]ボタンで確定すると、カメラの再起動を行います。

ビューリモコンでは、選択後に③[保存&再起動]ボタンを押してカメラを再起動してください。



本体メニュー[設定]



ビューリモコンの[映像]画面

- ・ **JVC Web APIに、自動追尾関連ほか、新規コマンドを追加しました。**

詳細は、最新の「JVC Web API仕様書」をご覧ください。

・プリセットポジションごとに記憶や呼び出しができる設定項目を拡張しました。

これまでのプリセット設定は、パン・チルト・ズーム・フォーカスの各ポジションのみ記憶できましたが、新たに露出設定、色調整、画質調整、PTZ設定をプリセットポジションごとに記憶・設定できるようになりました。

記憶内容		アップデート前	アップデート後	記憶内容		アップデート前	アップデート後
露出設定	モード設定	-	✓	色調整	彩度	-	✓
	露出補正モード	-	✓		色相	-	✓
	露出補正	-	✓	画質調整	輝度	-	✓
	バックライト	-	✓		コントラスト	-	✓
	明るさ	-	✓		シャープネス	-	✓
	アイリス	-	✓		水平反転	-	✓
	シャッター	-	✓		垂直反転	-	✓
	ゲイン	-	✓		白黒モード	-	✓
	ゲインリミット	-	✓		スタイル	-	✓
	フリッカー補正	-	✓	PTZ設定	AFゾーン	-	✓
	測光	-	✓		AF感度	-	✓
	DRC	-	✓		デジタルズーム	-	✓
色調整	WBモード	-	✓	その他	ズーム位置	✓	✓
	RGチューニング	-	✓		フォーカスモード	✓	✓
	BGチューニング	-	✓		フォーカス位置	✓	✓
	Rゲイン	-	✓		パン位置	✓	✓
	Bゲイン	-	✓		チルト位置	✓	✓

✓ ※今回の変更箇所

メモ： _____

ファームウェアバージョンがv3.0.12以前のカメラからExportしたファイルを使用して、プリセットポジションを復元することはできません。
またファームウェアバージョンがv3.0.12のカメラからExportしたファイルを、v3.0.12以前のカメラに使用することはできません。